

第2号様式

平成27年度地域まちづくり活動助成団体活動レポート

団体名称	(ふりがな) うえだひがしがっくれんらくきょうぎかい	
	植田東学区連絡協議会	
代表者	会長 林 澄枝	
団体設立時期	平成21年4月	
会員数 (構成員数)	24名(平成26年5月現在)	
主な構成員	(1)学区内の各団体代表:町内会、小中PTA、子ども会、女性会 (2)学区内の委員代表:区政協力委員、民生児童委員、保健委員等 (3)部会代表	
主な活動地域	天白区植田東学区	
団体の活動目的	・会員相互の連携 ・地域社会の福祉増進 ・住民自治の向上	
連絡先 ※	天白区	担当
	TEL —	FAX —
	E-mail uedahigashi@live.jp	
	URL	

※ 公表可能な内容のみ記載してください。

平成 27 年度 地域まちづくり 活動助成を受け て行った活動	学区内の交通課題の改善をめざして、平成 26 年度まとめた交通まちづくり計画案を元に速度抑制社会実験やアンケート調査を行うとともに、交通部会で計画の具体化を進めた。 (1)交通まちづくり計画の実現 要望書を天白警察署と天白土木事務所に提出。 交通部会＋交通アドバイザー（鈴木准教授[名工大]）で検討。 助成対象は 4 回（7/25、9/5、12/13、1/23） 止まれ（足型）マーク設置（1/23, 1/26 に 5 か所の横断歩道に設置） (2)社会実験の実施 名古屋市長と協定を締結し、高架下道路の狭さくによる速度抑制社会実験を 10 月始めから 11 月末までの 2 カ月間実施。名工大の協力により事前、事中、事後の速度や交通量の調査を行った。 (3)住民アンケート調査 10 月配布、12 月回収。配布数 1,863、有効回収数 1,050（56.4%） 社会実験、路上駐車への意見などを把握 (4)まちづくりニュースの発行 3 回発行（7 月、9 月、1 月）、町内会加入者に全世帯配布 (5)計画リーフレットの作成 平成 27 年度の取り組み、社会実験、アンケート及び行政との調整を踏まえ平成 28 年度の取り組みなどを検討し、連絡協議会での議論を経て、3 月中旬以降住民（町内会未加入世帯も含め）に配布。  止まれ（足型）マーク設置  速度抑制社会実験
平成 28 年度 予定している 活動	・高架下道路の狭さく等の計画 ・ゾーン 30 の実施 ・点滅信号機の廃止 ・歩車共存道路の整備 ・横断歩道への止まれシール貼付 ・路上駐車 の 啓 発

第2号様式

平成27年度地域まちづくり活動助成団体活動レポート

団体名称	(ふりがな) あつたみやしゅくかい あつた宮宿会		
代表者	鈴木 淑久		
団体設立時期	平成26年4月		
会員数 (構成員数)	35名(平成27年12月現在)		
主な構成員	熱田を拠点とする食の老舗名店をはじめとする企業群 大学：名古屋学院大学(熱田区) NPO法人：堀川まちネット(熱田区)		
主な活動地域	熱田神宮・宮の渡し界限		
団体の活動目的	江戸時代、東海道随一の繁栄を誇ったといわれる「宮宿」の活気を再び熱田に呼び戻そうと、熱田の「にぎわい創出」、熱田の魅力の内外への発信、そして悠久の歴史から織りなされた「熱田の誇り」を次世代へつなぐ事業を展開しています。		
連絡先 ※	熱田区大瀬子町1403-1		担当 笥 和歌子
	TEL 052-682-5008	FAX 052-682-5008	
	E-mail miyashuku@horikawamachi.net		
	URL http://ameblo.jp/miya-syuku/		

※ 公表可能な内容のみ記載してください。

平成27年度
地域まちづくり
活動助成を受け
て行った活動

(1) 地域フォーラム「あつた宮宿まちづくりビジョン2015に向けて」

日時：平成27年9月1日（火）14:00-16:00

場所：名古屋学院大学日比野学舎

概要：あつた宮宿会のこれからのまちづくりビジョンづくり宣言



(2) あつた朔日市「あつた芸能広場」

日時：平成27年10月1日（木） 平成28年3月1日（火）

場所：熱田神宮境内参道

概要：熱田神宮への「朔日参り」参拝者へのおもてなしとにぎわい創出



(3) 次世代まちづくりびと育成事業「あつた歴史紙芝居会」

日時：(初回) 平成28年1月13日 13:30-14:15

場所：白鳥小学校（3年生社会科授業）

そのほか、旗屋小学校・大宝小学校・高蔵小学校において実施

概要：熱田に関する偉人を題材とした紙芝居



(4) 地域フォーラム 映画「熱田物語上映会」&「未来の熱田シンポジウム」
 日時：平成 28 年 1 月 26 日（火）午後 1 時 30 分～午後 4 時
 場所：熱田区文化小劇場 定員：先着 300 人 参加費：無料
 概要：熱田まちづくりのこれまでの振り返りこれからの展望を討論



(5) 広報事業：あつた宮宿会紹介リーフレット作成
 A4 版 3 つ折りリーフレットを 10,000 部作成し、各種イベント・フォーラム、また各企業団体窓口にて配布。

平成 28 年度
 予定している
 活動

- ・あつた朔日市（正月を除く毎月 1 日）
- ・宮の浜市（11 月 20 日）
- ・次世代まちづくりびと育成事業「あつた歴史紙芝居」第 2 弾制作
- ・地域フォーラム「あつた宮宿まちづくりビジョンに向けて」

第2号様式

平成27年度地域まちづくり活動助成団体活動レポート

団体名称	(ふりがな) あらかのさときょうぎかい	
	荒子の里協議会	
代表者	吉田孝則	
団体設立時期	平成24年10月	
会員数 (構成員数)	96名(平成28年3月現在) (※うち法人会員5社)	
主な構成員	荒子学区及び荒子連合町内会住民	
主な活動地域	あおなみ線荒子駅、南荒子駅、地下鉄高畑駅、荒中町に囲まれた地域 (中川区荒子町、荒中町、的場町、高畑)	
団体の活動目的	荒子の歴史・文化・環境を尊重し、次世代のまちづくりを行う ・荒子の歴史と魅力の発見・再生 ・荒子ゆかりの人々、住む人たちの絆(連帯感)の強化 ・新たな文化・伝統の創出	
連絡先 ※	中川区荒子 1-194	
	担当事務局長 小島祐助	
	TEL 052-351-0708	FAX 052-351-0748
	E-mail Kojima@firenze.co.jp	
	URL : http://homepage2.nifty.com/hannah/arako/index.htm	

※ 公表可能な内容のみ記載してください。

平成 27 年度 地域まちづくり 活動助成を受け て行った活動 ※資料①～⑳は 中間報告に添付 ※資料 21～は 最終報告に添付	7/20 かわら版 10 号発行。協議会活動エリアに回覧（資料①） 8/10 ランタンフェスティバル開催 （荒子観音寺九万九千日行事）（資料①②③⑬） 9/3 地域まちづくり勉強会開催（資料①③④⑬） 10/11 長浜市高月町雨の森地区、木之本地区のまちづくりを視察（資料③⑤⑬） 10/7 かわら版 11 号発行。協議会活動エリアに回覧（資料③） 10/25 区民祭り参加 会員募集広告の作成と配布及び PR 活動（資料⑥⑦⑬⑱） 11/1 荒子の里よいとこ探し実施（資料③⑧⑥⑬） 11/14 第 1 回荒子円空市開催。三八市の復活。（資料③⑥⑨⑩⑬） 11/23 第 1 回 まちの歴史懇談会開催。（資料⑥⑪⑫⑬⑳） 11/27 荒子の里よいとこ探し部会 打ち合わせ（資料⑬） 12/7 かわら版 12 号発行（資料⑥） 12/12 第 2 回荒子円空市開催（資料 21） 1/9 第 3 回荒子円空市開催（資料 22、24） 1/18 第 2 回 まちの歴史懇談会開催（資料 23） 2/3 荒子観音寺節分会（恵方）で広報活動（資料 24） 2/13 第 4 回荒子円空市開催（資料 22、24） 3/7 かわら版 13 号発行（資料 24） 3/12 第 5 回荒子円空市開催 1 月～3 月 「よいとこ探し部会」の活動（資料 26） ・事務局会及び運営委員会（月 1 回以上）を随時開催した。（資料⑩、27） 【その他報告すべき事項】 ・5/2 円空仏に因んだシンポジウム開催（市文化振興事業団と共催）（資料⑮） ・9/5 付け中部経済新聞 4 頁に協議会活動が 1 頁全面で紹介された。（資料⑰） ・3/5～21 荒子梅苑「梅まつり」開催に協力（資料 24） ・協議会パンフレット案を作成、次年度デザイン印刷して配布予定。（資料⑱、25） 「荒子の里よいとこ探し」 「荒子円空市」
平成 28 年度 予定している 活動	・「荒子の里よいとこ探し」：選定した町並みを認定し、マップ等を作成 ・地域古老の講話会「昔がたり」の継続開催と記録化 ・観音寺門前の空き家をまちづくり拠点として活用検討 ・九万九千日ランタンフェスティバル開催 ・荒子円空市の毎月開催を継続 ・荒子の円空仏の PR イベント開催（5/6 予定） ・荒子梅苑の活動に協力 ・協議会会報「かわら版」を年 4 回程度発行

第2号様式

平成27年度地域まちづくり活動助成団体活動レポート

団体名称	(ふりがな) なごやしたまちしゅう	
	那古野下町衆	
代表者	飯田幸恵	
団体設立時期	平成19 年 3 月	
会員数 (構成員数)	22 名 (平成28年3月現在)	
主な構成員	円頓寺商店街、円頓寺本町商店街	
主な活動地域	那古野地区・四間道界限	
団体の活動目的	円頓寺商店街・円頓寺本町商店街・西円頓寺商店街・四間道界限のを活性化することを目的とする。	
連絡先 ※	西区那古野 1-6-10	担当 飯田幸恵
	TEL 052(551)0425	FAX —
	E-mail iibu821@r4.dion.ne.jp	
	URL http://nagosyu.net/	

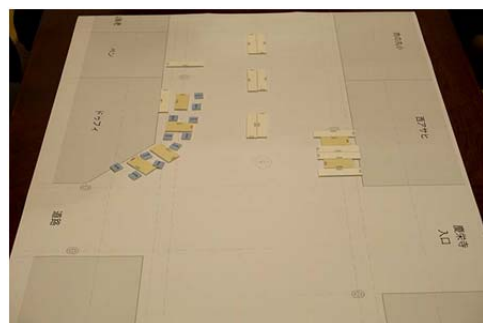
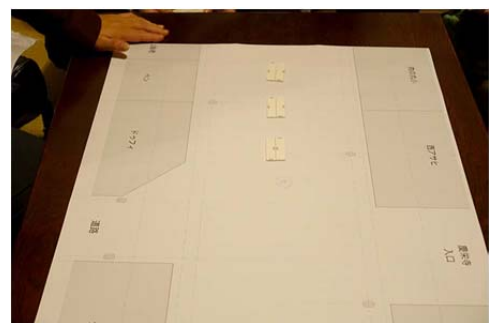
※ 公表可能な内容のみ記載してください。

平成27年度
地域まちづくり
活動助成を受け
て行った活動

◆ワークショップ

- ・社会実験実施の候補場所
- ・社会実験実施の候補日
- ・休憩施設に適した机、椅子
- ・机、椅子の管理
- ・警察等、関連機関への届け出
- ・地域住民、商店街組合委員への周知
- ・効果的な実施日として、ごえん市の日に実施
- ・ごえん市出店者スペースを考慮した休憩施設の設置レイアウトの検討
- ・休憩施設の管理を各店舗が行う等、ルール必要性
- ・車両横断、歩行者通行への影響

<ワークショップの様子>



< 3月6日（日）社会実験の様子 >



- ・利用者は、若者、高齢者、子ども連れと幅広い層にわたった。
- ・まち歩きや買物途中の休憩、井戸端会議の場として活用された。
- ・近隣店舗からの評判も良かった。
- ・歩行者等とのトラブルも発生しなかった。
- ・商店街内の他の場所と比較して、人のたまる場所となっていた。
- ・実施時間中、マナーの悪いペット連れの散歩は無かった。

平成28年度
予定している
活動

商店街ルールの特啓活動とその実践

第2号様式

平成27年度地域まちづくり活動助成団体活動レポート

団体名称	(ふりがな) やだちいきまちづくりすいしんきょうぎかい	
	矢田地域まちづくり推進協議会	
代表者	吉見 幸典	
団体設立時期	平成 26 年 8 月	
会員数 (構成員数)	11名 (平成27年12月現在)	
主な構成員	地域住民、学識経験者、地域企業、地域所在する学校関係者	
主な活動地域	大曽根駅～砂田橋駅沿線地域	
団体の活動目的	地域の安心安全に基づき、学区、地域、世代を超え、顔の見える関係づくりを行い、地域一帯の防災性の向上につながる活動を行う。	
連絡先 ※	東区矢田町 1-12-31	担当
	TEL 725 — 3037	FAX —
	E-mail	
	URL	

※ 公表可能な内容のみ記載してください。

平成27年度
地域まちづくり活動助成を受けて行った活動

① 円卓会議

地域の課題解決を行う上で必要な、近隣地域の住民、企業、学校など、地域の直接的・間接的に影響を受ける利害関係者が一堂に会して会議を行い、連携、理解、協力体制を深めてそれぞれが顔の見える関係を構築する場とした。



② 宿泊型一泊避難所体験

地域在住、在勤、通学者など、地域や組織の枠を超えて広く参加を呼び掛け、顔の見えるまちづくりに対する理解と協力を促すきっかけをつくるため宿泊型避難所運営訓練を行った。

世代や性別ごとの配慮の必要性や地域の避難所の在り方について、体験をすることで様々な気づきがあり、障害者やペット同伴の方などもマニュアル通りの配慮ではいけないことを体験した。

また、今後、災害時の帰宅困難者対策等、学区を越えて、地域一帯の連携協力体制の構築を具現化することが必要であることから、地域、企業、学校、行政と一緒にあって、それぞれができることをみんなで考え、小中高大学の学生を巻き込んで実行することが必要という結論に至った。次年度以降も引き続き行っていく必要性を体感した。

防災かまどを使い、市工芸高校の生徒と共に炊き出し訓練を実施。米を茹でてご飯を作る時間の確認や火の管理などを並行して行った。



避難所の場所の取り方、通路の取り方、寒さ対策などの最善策を話し合った。小さい子供は目隠しとなるテントを持ち込んでいた。ペット同伴者についてもテントが有効のようであった。



③ 自転車乗り方教室

愛知県警察とトラック協会の協力により、トラックでの巻き込み事故防止のための実演や、自転車インストラクターによる自転車のバランスの取り方などの指導を行い、安全な乗り方を体感するひろばを作った。トラックからの死角を子供たちに理解してもらうように警察官にも協力してもらった。

自分の身の安全を考え、安全なまちづくりについて親子で考えるきっかけづくりをした。段差があると走行しにくく危険であること、ゆっくりとまっすぐに走ることは難しいことを体感する機会を作った。



④ 情報紙作成

地域に所在する名古屋高校新聞部に情報紙作成を依頼し、実際に事業に参加した感想を含めて、紙面の作成、円卓会議への参加、大人と高校生の生徒と協同で行い、地域への参画や広く地域を知ってもらうことと、理解を深める意識づけを行った。



平成28年度
予定している
活動

円卓会議
自転車の乗り方教室
宿泊型避難所運営訓練

第2号様式

平成27年度地域まちづくり活動助成団体活動レポート

団体名称	(ふりがな) かねでらもんぜんてい	
	かねでら monzen 亭	
代表者	伊藤 邦一	
団体設立時期	平成19年5月	
会員数 (構成員数)	21名 (平成28年4月現在)	
主な構成員	笠寺地区在住者、ボランティア	
主な活動地域	南区笠寺町	
団体の活動目的	笠寺を楽しく暮らしやすいまちにすること	
連絡先 ※	南区西桜町 26	ドミールイソベ 401 号
	TEL 052-821-8832	FAX 052-821-8832
	E-mail t1217@venus.dti.ne.jp	
	URL http://machiwiki.sakura.ne.jp	

※ 公表可能な内容のみ記載してください。

平成27年度
地域まちづくり
活動助成を受け
て行った活動

1 ジオラマによる幅広い層のまちづくりへの参加

笠寺納涼夏祭の1企画として、子ども達を中心に自分たちで街を作っていく体験をしてもらいました。

小さな子どもたちには積み木の塗り絵、少し大きな子ども達には発泡スチロールの加工、大人にはペーパークラフトで建物を作ってもらい、笠寺の地形を再現したジオラマの上に、自分の作った建物を並べてもらう作業をしてもらいました。

狙いは、まちづくりの楽しさを多くの人に体験してもらうこと。30個ほど用意していた積み木が足りなくなり、追加で作るほどの人気ぶりでした。



2 ジオラマを使った街に関するアンケート調査

(1) 笠寺の将来像アンケート

名古屋市内の特徴のある以下の6つの街の写真の中から、笠寺が将来こうなってほしいと思う街を選んでもらいました。

選択肢は、有松地区、覚王山地区、長者町地区、星ヶ丘地区、大須地区、笠寺地区としました。

330人の方に投票に参加していただきました。



(2) 笠寺の課題アンケート

笠寺のジオラマを南区役所に展示している間に合わせて、笠寺の抱える以下の6つの課題について、2択で回答をいただきました。なお、回答数は累計で220票でした。

設問は以下のとおりとしました。

【テーマ1：交通】

問1 駐車場は足りていると思いますか？

問2 旧東海道は歩道を設置して道幅を広げた方がよいと思いますか？交通量を減らして街並みを残す方がよいと思いますか？

【テーマ2：環境・景観】

問1 みどりは十分あると思いますか？

問2 街並みは有松のように統一感を出した方がよいと思いますか？

【テーマ3：商店街】

問1 お店の数が増えたら商店街を利用しますか？

問2 土日には商店街を歩行者天国にした方がよいと思いますか？

平成28年度
予定している
活動

ジオラマによるアンケートを継続して、より多くの方の意見を集約するとともに、この結果を学区など地域代表権を持つ組織と共有し、地域の声としてとりまとめ、地域まちづくりプランに結びつけていく。